

ロマンロード8月第一例会議事録

平成18年8月24日(木) 午後7時～

議長：鈴木 書記：鈴木

参加者：毛塚、高橋、小島(インターシップ生)

支援事務局：荒井

【報告事項】

(1)まち研リーダー等会議結果報告(8/11)

①館林東西駅前広場連絡通路整備について

都市整備課より設計デザインについて説明あり。

②都市再生整備計画「歴史の小径地区」事業

③温泉会議について

日程：平成18年10月1日(日)～2日(月)(1泊2日)

場所：ホテルサンバレー那須

費用：15,000円/人(定員16名)

⇒ロマンロードからの参加希望者なし。

④まちや塾「中心市街地活性化と公共デザインについて」の開催について

建築士会とロマンロードのコラボレーション事業

⑤群馬県地域づくり協議会 館林交流会について

日時：10月6日(金) 14:00～17:00

14:00～ まち歩き

16:00～ 意見交換会

(2)七夕まつり「幻燈浪漫」の反省

- ・多くの子供達が参加し、参加型の七夕まつりになってよかった。
- ・まち研企画だったが、当日はロマンロードと支援事務局のみでメンバーの参加がなかったことが残念。
- ・来年以降、どのようなかたちで行うか検討が必要。

【協議事項】

(1)ロマンロードとしての「ミッションと成果の出せる雰囲気づくりについて」

- ・原点に戻って、メンバー同士互いに考えていること、思っていることを率直に話しながらあるべき方向を目指していく必要がある。

- ・まち研の世代バランスを見ると、ハッピーリタイヤしている 50 代以降の男性メンバーが非常に少ない。ある程度の知識、経験、リーダーシップのある元気なお年寄りの参加が必要ではないか。加えて、若い学生の参加も必要。
- ・滋賀の長浜や桐生などは、まちの旦那衆がまちづくりに参加している。まちの旦那衆が元気な地域は、まちづくりも成功している。その観点からまち研にもまちの旦那衆的な人がメンバーにいたることが望ましい。
- ・インターンシップ生の参加が減っているが、インターンシップ（個）よりもゼミ単位（集団）で館林に関わってもらえるとチームワークを発揮でき、若者も行動しやすい。
- ・50 代を対象にまち研のメンバー募集説明会を開催し、グループごとのブースを設けて、1 対 1 で話しながらまち研を知ってもらうことが重要。そして、まち研を理解した上で入ってもらう。

(2)タテバナシ夏号の発行について

次回の例会までに、原稿を作成(担当 毛塚)
各自、「水」について調べてくる。

(3)ロマンロードHP改善案について

◎サロンスタッフの方に、全てを丸投げする状況は望ましくなく、申し訳ない。

⇒次回の例会を 18:30 から始め、ロマンロードの意向を直接サロンスタッフと話をしながら調整する。

(4)その他

- ・9/8（金） リーダー等会議
インターンシップ生発表会

【次回例会】

日時：9月14日(木)